

SNS活用最前線

SNSで連携することで、発信力を高めていこうという取り組みを紹介いたします。

専門学校生が地域の魅力を「AからZまで」余すことなく発信

越谷市

埼玉県越谷市で、美容専門学校で学ぶ学生たちが、地域の伝統やイベント、野外活動など、日常にあるさまざまな魅力を体験しながらSNSで発信しています。Instagramを活用した「越谷市役所プロモーションZ係」のメンバーとして、「Z世代」ならではの視点で伝えていきます。

Instagram × Z世代

信頼性のある市と発信力の高い学生の互いの強みを生かす

越谷市では従来、X（旧ツイッター）やInstagram、LINEなどのSNSを活用していますが、発信内容としては、各課室からのお知らせやイベント情報が中心でした。「それらの情報は、正確性や信頼性はあるものの、SNSの特徴である魅力の発信や共感



越谷市Instagramのトップ画面。「越谷市役所プロモーションZ係」による投稿は、連携する埼玉東萌美容専門学校のInstagramでも、同じコンテンツを見ることができ

の獲得には課題があった」と語るのは、広報シニアプロモーション課の小原真綺さんです。

「特に、SNSが生活の一部になっている若い世代に地域の情報が届いていませんでした。今後のまちづくりのために優先的に取り組むべきだと考え、今回の企画を検討してきました」

市では、まちの価値は、まちに関わる市民がつくる」というコンセプトで

シニアプロモーションを推進しています。その理念のもと、若い世代への発信手法として考えたのが、若者との連携でした。連携相手は、従来、地域との関わりが深かった地元の美容専門学校です。

市内にある埼玉東萌美容専門学校は、美容師国家試験を目指す学生が多く集まり、美容師のほか、メイクやネイル、エステなど美容業界に通用する人材を育成しています。また、地元商店会のイベントに出店するなど、地域貢献活動にも取り組んでいます。

美容業界では、顧客がネットで美容師を選び予約することが主流になっていて、経営者側もSNSによる集客やマーケティングが当たり前になっています。同校では学生募集などの広報にSNSを積極的に活用しており、それらの実務を学生が手掛けています。

「正確性や信頼性はあるものの若者への情報発信に課題がある行政と、若い世代の人材育成のために地域との関わりや情報発信の学びの機会を求める美容専門学校が、相互の強みを生かす取り組みとして企画しました。美容業界は、SNSの中でも写真や動画による共感を拡散するのに適したInstagramの利用が多く、また、同校には

Instagramを活用する有志の団体があったことから、連携を提案しました。

越谷市役所プロモーションZ係事業には、『Z世代へ訴求力のある情報発信がしたい』『越谷の魅力をもっとAからZまで』余すことなく届けたい」という思いが込められています。プロジェクト名を『越谷市役所プロモーションZ係』とインパクトのあるネーミングにしたのも、若い世代に関わってもらおうと、同世代に伝えてほしいからです」（小原さん）

こうして始まった越谷市役所プロモーションZ係では、学生有志で構成されたメンバーがまちへ繰り出し、越谷市のさまざまな魅力を体験、体感しながら、その様子をショート動画にまとめInstagramに投稿します。投稿内容は、市と同校の双方のInstagramで閲覧できます。

【投稿画面から】「越谷だるま」の絵付けに挑戦



市は学生と一緒に企画編集会議を行い、具体的な投稿内容を考えます。投稿テーマの柱として次の3点を設定しました。

- 伝統的手工芸品の魅力と後継者育成地域の魅力的なイベントやアクティビティの体験
- 日常にある「こしがや」の魅力とライフスタイルにある地域との関わり
- これらの基本テーマに基づき、学生に対して市が具体的な取材候補やテーマを複数提示し、取材先を決めています。取材先との交渉は市が行い、取材にも立ち合いますが、実際の取材や動画の編集、投稿などは学生が行います。

「実際の投稿では、地域の魅力と、発信者である学生の価値観が分かりやすく表現できること。また、正確性、信頼性のある市と、発信力のある学生、双方の強みを生かせるよう、意識



「広報こしがや」11月号の特集「越谷の伝統的手工芸品をZ係がナビゲート」から

「広報こしがや」11月号の特集「越谷の伝統的手工芸品をZ係がナビゲート」から

して取り組んでいます」（同）より訴求力のある内容とするため、市はメンバーを対象に、地元クリエイターによるInstagramのマーケティング講座を開催し、専門的なノウハウを学ぶ機会を提供しました。

投稿は今年8月から始まり、これまでに、伝統的手工芸品「越谷だるま」の製作、越谷花火大会や南越谷阿波踊りなどの地域イベント、キャンプ場や水上アクティビティなどの現場を訪れ、その様子を紹介してきました。一つの取材先につき、メンバーが交代で、内容を変えながら複数回投稿しています。



【投稿画面から】キャンプ体験ではキャンプ場を運営する夫婦にインタビュー



【投稿画面から】ホビーベースレイクタウンで、足こぎベダルで前に進む水上の乗り物を体験

10月の投稿は、キャンプ場からのレポート。経営者からアドバイスを受けながらテントの設営やフィナンシェ焼き、テントサウナなどを体験。経営者にインタビューし、キャンプ場運営への思いなどを聞きました。体験した感想を学生が語る動画も公開し、「アウトドア初心者私たちでも、安心して楽しむことができます」と紹介しています。

越谷だるま製作工房見学の様子は、「広報こしがや」11月号でも特集で公開。職人へのインタビューを通して、だるまづくりの課題や今後について伝えたほか、だるま以外の伝統的手工芸品を紹介しました。

取材を通して、自分たちにもできることを」と行動

これまでの投稿に対して、「すてきな取り組みです」「越谷だるま、萌えますね」など、Instagramユーザー

からのコメントもありました。特に若い世代の閲覧率が伸びており、市では、それら世代に情報が届いていることを実感しています。何よりも、さまざまなことを体験した学生たちの行動にも影響を与えています。越谷だるまの取材後、越谷だるまのために自分たちにも何かできることはないかと考え、10月に開催された同校の学園祭で「越谷だるまのPR販売」を行いました。その様子も投稿されています。

越谷市Instagram「越谷市役所プロモーションZ係」
https://www.instagram.com/koshigayacity_official/
埼玉東萌美容専門学校Instagram
https://www.instagram.com/tohobc_official/
（関連サイト）
https://www.city.koshigaya.saitama.jp/citypromotion/cate_top.html